

ワーグナー作曲 舞台神聖祭典劇「パルシファル」

70806

幕	場	場面	内容	分	歌う登場人物					見どころ・聴きどころ	
第一幕 110分	前奏曲			13							
	1	これまでの経緯と登場人物の紹介の場面(モンサルヴァート城近くの森の中)	起床ラッパの鳴る早朝から老騎士グルネマンツは、アンフォルトス王が水浴びしに来るのを待っている。そこに、クンドリーが、アンフォルトス王のためにアラビアの薬草を持ってきた	8	グルネマンツ			クンドリー		2人の聖杯守護騎士	
	2		魔法を使うクリングゾルから受けた脇腹の傷が治らない王は、痛みから解放されて朝を迎えられたことを喜ぶ。王は、アラビアの薬草を貰いクンドリーに感謝し、水浴びに行く	8	グルネマンツ	アンフォルトス		クンドリー			
	3		グルネマンツは次のように語る。①天使から前王に委された「聖杯」と「聖槍」の守護騎士は心が清いことが条件②その騎士を希望したクリングゾルはその条件を満たさないで破門された③その恨みから魔法を使い歓楽の園に妖艶な女性達を住ませ騎士達を誘惑している④クリングゾルが操るクンドリーの誘惑により王が傷を負い、「聖槍」を奪われた⑤「聖杯」も奪おうとしているが逆に「聖槍」を取り返さなければいけない	50	19	グルネマンツ			クンドリー		4人の小姓達 グルネマンツの語りの場面
	4		勇敢な弓矢使いだが平気で白鳥を殺したり自分の素性も知らない無智なParsifalの紹介を、クンドリーが行う。母親は、戦死した父親のように早死にさせないために荒野の中で愚か者に育てた。しかし、母親は生き別れた子を案じながら寂しく死んだ。その話を聞いて興奮したParsifalのために、クンドリーは水を顔に振り掛け、飲ませる献身さも持ち合わせる	15	グルネマンツ		パルシファル		クンドリー		4人の小姓達 「同情により智を得たる清き愚者」たるParsifalの登場
	5		Parsifalは、グルネマンツに誘われ城壁の中に入りこれから始まる「聖杯」式を見学することになった。聖杯守護の騎士達と担架に運ばれたアンフォルトス王が各々の席に着き、式の準備が整った	15	グルネマンツ		パルシファル			合唱	荘厳な場面転換の音楽
	6		王は、「聖槍」を奪われ傷を負うような自分に「聖杯」式を執り行う資格がない苦悩を歌う。父であるティトゥレル前王の命により、やむなく「聖杯」式を行う	47	12		アンフォルトス				ティトゥレル前王 苦悩するアンフォルトス王の場面
7	「聖杯」に向かい頭を下げ祈りを捧げ、パンとワインにより祝福を与える。グルネマンツは、無表情なParsifalの反応を見て「同情により智を得たる清き愚者」でないといい、追い出す		20	グルネマンツ					合唱	美しい「聖杯」式の音楽と合唱	
第二幕 65分	1	魔法の城	魔法を使うクリングゾルはクンドリーを起こし、Parsifalの誘惑を命ずるが、クンドリーは、「男達はみんな自分の美貌に負ける、永遠の睡眠が唯一の幸せ」と歌いつつ、Parsifal誘惑の準備をする	25	15			クンドリー	クリングゾル		
	2	Parsifalへの誘惑失敗の場面(美しい歓楽の園)	クリングゾルが仕掛けた花の娘達のしつこい戯れに興味を示さないParsifal	10			パルシファル			6人の花の娘達他 パレエの場面	
	3		自分の名前を呼ばれて立ち止まるParsifalに対して、クンドリーは、息子に対する心配性な母親の愛情と生き別れによる苦悩の話をしながら口説きにかかる。母の苦悩さえ知らないParsifalは、自分の「無智」に苦悩を感じ始める。そしてクンドリーは母からの、という口実で長いキスをする	37	17		パルシファル		クンドリー		
	4		パルシファルはその甘かったキスにより逆にアンフォルトスの負う苦悩を思いだし、今までの自分の「無智」の罪を贖うためには他者を救済する。という自分の使命を悟り救済の道に向かう。他方クンドリーは負けじと、自分の苦悩を贖罪し救済して欲しいので抱いてくれるようParsifalに訴えるが、拒絶されたのでクリングゾルに助けを求め	20			パルシファル		クンドリー		
	5		クリングゾルは「聖槍」を投げるが、Parsifalの頭上で静止し「聖槍」を取り戻すと、歓楽の園は、荒野に逆戻りする	3			パルシファル			クリングゾル	
第三幕 75分	前奏曲(数年後の春)			6							
	1	聖金曜日の場面(モンサルヴァート城の森の中の夜明け)	藪の中で眠っているクンドリーをグルネマンツが見つけて介抱するが、歩き方が以前より元気になっている	42	8	グルネマンツ			クンドリー		
	2	グルネマンツは、「聖杯」式も行われずに衰退し前王が死に現王の病状も悪化している話をする。Parsifalは、救済をと意気込んだのだが、道を間違えるだけでなく救済への道さえも見失った、という辛かった話をし倒れる	14	グルネマンツ		パルシファル		クンドリー		再会したParsifalとグルネマンツが積もる話をする場面	
	3	苦勞しすぎたParsifalに対して、クンドリーとグルネマンツは泉から汲んだ水と香油で足を洗い頭にふりかけ髪を解き髪で拭き合掌する。Parsifalもクンドリーに洗礼を施すと、クンドリーは激しく泣く	10	グルネマンツ		パルシファル		クンドリー		洗礼の場面	
	4	聖金曜日の今日、クンドリーの涙が神聖なる露と一体となって森が呪いの大気から救われ、清々しく美しい光景となる場面	10	グルネマンツ		パルシファル		クンドリー		聖金曜日の場面	
	5	身支度を整えた3人はティトゥレル前王の葬式列席のために城壁の中に入る。聖杯守護の騎士達も入場する	10						合唱	場面転換の音楽	
	6	救済される場面(城内の礼拝堂)	ティトゥレル王の棺が運ばれ、騎士達から「聖杯」式を執り行うよう迫られるが、アンフォルトス王は死を求めており部下に脇腹を刺してもらい、罪から解放され安息を求めたいと、拒否する	28	8		アンフォルトス				死を求めるアンフォルトスの場面
7	パルシファルが前に進み、取り戻した「聖槍」の矛先をアンフォルトス王の傷口に触れ直し、「聖杯」の儀式を代わってとり行い、騎士達の上に祝福を与える。クンドリーも苦悩の生命から今、救済された	10			パルシファル						

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。